

開発建設部



災害に関する講義



照明車操作訓練



災害対策本部車拡幅訓練



防災ヘリ搭乗訓練



現地簡易測量訓練

TEC・FORCEの隊員は国土交通本省を筆頭に国土技術総合政

迅速な災害対応（技術的支援等）を効率的に行うことが可能となり

車）の拡幅・操作手順の習得、防災ヘリ搭乗訓練、現地での簡易測

た組織のことで、

これにより全国あらゆる場所で大規模自然災害が発生した場合でも、本省指示等により全国からTEC・FORCE隊が駆けつけ、

対策機器（災害対策本部車、照明車）の拡幅・操作手順の習得、防災ヘリ搭乗訓練、現地での簡易測

感想が寄せられました。

TEC・FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するために発足した組織のことです。

策研究所、国土地理院、地方支分部局、気象庁にて全国で約2,600名で組織され、沖縄総合事務局開発建設部においては平成20年6月に隊員36名にて発足しました。

今回の研修では隊員の災害対応能力の向上を目的に、講義として「沖縄の防災について」、「TEC・FORCEマニュアルについて」、「他地整のTEC・FORCE活動について」、「災害査定について」、実地研修として災害対策機器（災害対策本部車、照明車）の拡幅・操作手順の習得、防災ヘリ搭乗訓練、現地での簡易測

量等を実施しました。受講した隊員からは「実際に研修に参加してTEC・FORCEとしての使命を実感した。全国の被災箇所へ派遣されることもあり得るため、常にモチベーションを高く持ち、緊急災害対策派遣隊としての役割を果たしたい。」等の



開発建設部では1月14日から15日までの2日間、部内隊員等22名によるTEC・FORCE研修を実施しました。

大規模自然災害時における緊急災害対策派遣隊の役割について ～平成21年度TEC・FORCE研修をとおして～